Q&A 一般質問 市政のそこを問いたい！



菱沼（ひしぬま） あゆ美（あゆみ） 議員（公明党）

HPV関連がんの予防と撲滅を

答弁…ワクチンの接種率の向上に努める

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　ＨＰＶ※は男女に感染し、子宮頸がん・中咽頭がんなどの疾患の原因となる。子宮頸がんは女性の若い世代が多く罹患し、死亡率も高い。予防接種の接種率向上が必須である。毎年、より幅広く再勧奨通知を送ってはどうか。また、男子への接種助成を開始しては。

答　未接種者への毎年の再勧奨は費用対効果の観点から難しいため、接種期限が近づくかたへの効果的な周知方法を工夫する。

　また、男子への接種助成については、国における定期接種化の動向や先行実施自治体の接種状況を注視するなど情報収集に努める。



※　ＨＰＶ…ヒトパピローマウイルスの略

学校 熱中症対策で 校内に給水機設置を

答弁…水筒補給の環境整備の検討を進める

問　児童生徒は、熱中症対策で学校に水筒を持参している。中身が空になった場合は、どう対応しているか。生活様式の変化で、水道の蛇口から直接水をくむことに抵抗が生じている。民間企業と協定を結び、校内に冷水が出る給水機の設置を推進しては、いかがか。

答　持参した水筒が空になった場合は安全な水道水で補給している。一方で、水道水を直接飲むことに抵抗のある児童生徒もいることから、費用や衛生管理等の課題を整理しつつ、民間企業との協定締結等の可能性も含め、給水機設置の実現に向け、検討を進めていく。



黒須（くろす） 大一郎（だいいちろう） 議員（白和）

財政と基金に問題はないか 次期方針は

答弁…財政健全性と総合振興計画との一体推進

▲録画配信
（９月１日一般質問）

問　財政リスクとしてふるさと納税による市税流出、入札不調、市債の金利負担、超長期国債の流動性の低さがある。これらや、大山小学校廃校、都市計画税増税なども踏まえ、行財政改革の成果と課題を検証し、次期行財政改革方針を市民に示す必要性があるのでは。

答　行財政改革方針の実施目標に掲げる「財政の健全性の維持」のための指標はすべて達成している。今後は、総合振興計画の行財政分野に位置付ける公共施設の再編やＤＸの推進などを本市の行財政改革の重要な取組とし、総合振興計画と一体的に推進していく。



継続 止めない市役所へ ＢＣＰの実効性向上を

答弁…ＢＣＰの見直しに併せて研究していく

問　発災時のみならず復興時における市の業務継続の実効性を担保し、向上させるためには、少なくとも健康福祉部の執務における代替施設の選定を先行して行うべきではないか。

　市として、業務継続体制の実効性をどのように高めていくのか。

答　福祉部門等の機能維持は重要であるため、迅速に行政機能の復旧・維持ができるよう、ＢＣＰの見直しに併せ代替施設の研究を進める。また、ＢＣＰの実効性を高めるため、見直しを進めるとともに、危機意識を持ち災害時に率先して行動できる職員を養成していく。